５　経理統計

（１）決算状況

①　収益的収支年次表

②　資本的収支年次表

③　資産・負債・資本対比表

（２）汚水処理原価・汚水処理原価分析

①　１㎥当たり汚水処理原価及び汚水処理原価内訳表

②　汚水処理原価構成表

（３）企業債借入残高状況

（４）経営分析表

（５）キャッシュ・フロー計算書

5 経理統計

(1)決算状況

① 収益的収支年次表

年度および金額 / 科目	平成26年度		平成27年度		
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	対前年度比(%)
下水道事業収益	6,454,821	100.0	6,524,808	100.0	101.1
営業収益	4,283,068	66.4	4,367,370	66.9	102.0
下水道収益	4,029,725	62.4	4,100,827	62.8	101.8
雨水処理負担金	170,649	2.7	173,894	2.7	101.9
その他営業収益	82,694	1.3	92,649	1.4	112.0
営業外収益	2,167,770	33.5	2,153,186	33.0	99.3
受取利息及び配当金	―	―	27	0.0	皆増
他会計補助金	770,196	11.9	713,883	10.9	92.7
長期前受金戻入	1,394,761	21.6	1,433,220	22.0	102.8
雑収益	2,813	0.0	6,056	0.1	215.3
特別利益	3,983	0.1	4,252	0.1	106.8
過年度損益修正益	―	―	668	0.0	皆増
その他特別利益	3,983	0.1	3,584	0.1	90.0
下水道事業費用	6,112,585	100.0	6,212,390	100.0	101.6
営業費用	4,883,902	79.9	5,080,327	81.8	104.0
管渠費	338,023	5.5	418,994	6.7	124.0
ポンプ場費	99,727	1.6	110,397	1.8	110.7
処理場費	766,028	12.5	792,002	12.7	103.4
雨水施設費	23,990	0.4	26,355	0.5	109.9
業務費	124,369	2.0	122,049	2.0	98.1
総係費	120,506	2.0	103,772	1.7	86.1
減価償却費	3,358,760	55.0	3,486,612	56.1	103.8
資産減耗費	52,499	0.9	20,146	0.3	38.4
営業外費用	1,165,005	19.1	1,130,313	18.2	97.0
支払利息及び企業債取扱諸費	1,160,032	19.0	1,123,191	18.1	96.8
雑支出	4,973	0.1	7,122	0.1	143.2
特別損失	63,678	1.0	1,750	0.0	2.7
固定資産売却損	―	―	―	―	―
過年度損益修正損	―	―	1,428	0.0	皆増
その他特別損失	63,678	1.0	322	0.0	0.5
純利益	342,236	―	312,418	―	91.3
当年度未処分利益剰余金	342,236	―	654,654	―	191.3

（消費税抜き）

平成28年度			平成29年度		
金額（千円）	構成比(%)	対前年度比(%)	金額（千円）	構成比(%)	対前年度比(%)
6,537,369	100.0	100.2	6,544,564	100.0	100.1
4,430,026	67.8	101.4	4,555,436	69.6	102.8
4,162,767	63.7	101.5	4,212,468	64.4	101.2
168,256	2.6	96.8	243,969	3.7	145.0
99,003	1.5	106.9	98,999	1.5	100.0
2,105,944	32.2	97.8	1,985,421	30.3	94.3
―	―	皆減	7	0.0	皆増
710,430	10.8	99.5	627,373	9.6	88.3
1,390,964	21.3	97.1	1,354,788	20.7	97.4
4,550	0.1	75.1	3,253	0.0	71.5
1,399	0.0	32.9	3,707	0.1	265.0
458	0.0	68.6	311	0.0	67.9
941	0.0	26.3	3,396	0.1	360.9
6,198,657	100.0	99.8	6,192,529	100.0	99.9
5,136,081	82.9	101.1	5,185,632	83.7	101.0
460,217	7.4	109.8	444,670	7.2	96.6
105,174	1.7	95.3	137,233	2.2	130.5
835,563	13.5	105.5	872,800	14.1	104.5
25,922	0.4	98.4	65,000	1.0	250.8
127,457	2.1	104.4	133,193	2.2	104.5
123,744	2.0	119.2	107,109	1.7	86.6
3,344,614	54.0	95.9	3,401,669	54.9	101.7
113,390	1.8	562.8	23,958	0.4	21.1
1,053,396	17.0	93.2	1,006,052	16.3	95.5
1,045,236	16.9	93.1	995,341	16.1	95.2
8,160	0.1	114.6	10,711	0.2	131.3
9,180	0.1	524.6	845	0.0	9.2
53	0.0	皆増	14	0.0	26.4
8,849	0.1	619.7	823	0.0	9.3
278	0.0	86.3	8	0.0	2.9
338,712	―	108.4	352,035	―	103.9
793,367	―	121.2	695,402	―	87.7

② 資本的収支年次表

区分 ＼ 年度および金額		平成26年度		平成27年度		
		金額（千円）	構成比(%)	金額（千円）	構成比(%)	対前年度比(%)
収入合計		7,127,091	100.0	6,260,971	100.0	87.8
	企業債	3,007,100	42.2	3,889,000	62.1	129.3
	補助金	3,511,141	49.3	1,545,377	24.7	44.0
	負担金	608,850	8.5	826,594	13.2	135.8
	他会計からの長期借入金	－	－	－	－	－
	固定資産売却代金	－	－	－	－	－
支出合計		10,243,198	100.0	9,304,243	100.0	90.8
	建設改良費	7,149,222	69.8	5,550,562	59.7	77.6
	企業債償還金	3,093,976	30.2	3,753,681	40.3	121.3
前年度一時借入金（起債前借）		749,200		2,040,000		272.3
補てん財源		3,865,307	100.0	5,083,272	100.0	131.5
	過年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額	－	－	－	－	－
	当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額	202,365	5.2	222,719	4.4	110.1
	減債積立金	－	－	200,000	3.9	皆増
	過年度分損益勘定留保資金	－	－	393,556	7.7	皆増
	当年度分損益勘定留保資金	1,622,942	42.0	2,073,456	40.8	127.8
	繰越利益剰余金	－	－	142,236	2.8	皆増
	当年度利益剰余金	－	－	101,305	2.0	皆増
	一時借入金（起債前借）	2,040,000	52.8	1,950,000	38.4	95.6

（消費税込み）

平成28年度			平成29年度		
金額（千円）	構成比(%)	対前年度比(%)	金額（千円）	構成比(%)	対前年度比(%)
5,958,809	100.0	95.2	8,944,785	100.0	150.1
3,299,000	55.4	84.8	5,909,700	66.1	179.1
1,835,955	30.8	118.8	1,690,790	18.9	92.1
823,833	13.8	99.7	844,281	9.4	102.5
－	－	－	500,000	5.6	皆増
21	0.0	皆増	14	0.0	66.7
10,008,098	100.0	107.6	10,309,728	100.0	103.0
6,553,954	65.5	118.1	6,711,986	65.1	102.4
3,454,144	34.5	92.0	3,597,742	34.9	104.2
1,950,000		95.6	3,811,700		195.5
5,999,289	100.0	118.0	5,176,643	100.0	86.3
5,104	0.1	皆増	－	－	皆減
234,285	3.9	105.2	232,352	4.5	99.2
206,459	3.5	103.2	340,000	6.6	164.7
－	－	皆減	325,352	6.3	皆増
1,741,741	29.0	84.0	1,341,539	25.9	77.0
－	－	皆減	－	－	－
－	－	皆減	－	－	－
3,811,700	63.5	195.5	2,937,400	56.7	77.1

③ 資産・負債・資本対比表

科目 ＼ 年度および金額	平成26年度		平成27年度		
	金額（千円）	構成比(%)	金額（千円）	構成比(%)	対前年度比(%)
資産合計	108,013,941	100.0	108,156,023	100.0	100.1
資産の部	108,013,941	100.0	108,156,023	100.0	100.1
固定資産	104,189,238	96.4	105,878,542	97.9	101.6
有形固定資産	104,189,238	96.4	105,878,542	97.9	101.6
土地	4,843,726	4.5	4,844,040	4.5	100.0
建物	5,432,265	5.0	5,292,879	4.9	97.4
構築物	84,673,884	78.4	86,339,446	79.8	102.0
機械及び装置	7,907,668	7.3	7,077,872	6.6	89.5
車両運搬具	199	0.0	199	0.0	100.0
工具器具及び備品	15,832	0.0	26,900	0.0	169.9
建設仮勘定	1,315,664	1.2	2,297,206	2.1	174.6
流動資産	3,824,703	3.6	2,277,481	2.1	59.5
現金及び預金	1,383,776	1.3	57,450	0.1	4.2
未収金	2,372,148	2.2	1,571,185	1.4	66.2
貸倒引当金	△ 26,481	△ 0	△ 24,500	△ 0	92.5
前払金	95,260	0.1	673,346	0.6	706.9
負債資本合計	108,013,941	100.0	108,156,023	100.0	100.1
負債の部	99,175,838	91.8	98,580,219	91.1	99.4
固定負債	53,601,549	49.6	53,988,203	49.9	100.7
企業債	53,583,845	49.6	53,955,915	49.9	100.7
他会計借入金	－	－	－	－	－
引当金	17,704	0.0	32,288	0.0	182.4
流動負債	8,486,789	7.8	7,122,912	6.5	83.9
一時借入金	2,040,000	1.9	1,950,000	1.8	95.6
企業債	3,751,298	3.5	3,514,547	3.2	93.7
未払金	2,646,768	2.4	1,602,116	1.5	60.5
引当金	30,729	0.0	31,573	0.0	102.7
その他流動負債	17,994	0.0	24,676	0.0	137.1
繰延収益	37,087,500	34.4	37,469,104	34.7	101.0
長期前受金	36,040,520	33.4	35,895,750	33.2	99.6
建設仮勘定長期前受金	1,046,980	1.0	1,573,354	1.5	150.3
資本の部	8,838,103	8.2	9,575,804	8.9	108.3
資本金	6,122,559	5.7	6,547,528	6.1	106.9
資本金	6,122,559	5.7	6,547,528	6.1	106.9
剰余金	2,715,544	2.5	3,028,276	2.8	111.5
資本剰余金	2,373,308	2.2	2,373,622	2.2	100.0
受贈財産評価額	516,560	0.5	516,874	0.5	100.1
国県市補助金	1,856,748	1.7	1,856,748	1.7	100.0
利益剰余金	342,236	0.3	654,654	0.6	191.3
当年度未処分利益剰余金	342,236	0.3	654,654	0.6	191.3

（消費税抜き）

平成28年度			平成29年度		
金額（千円）	構成比(%)	対前年度比(%)	金額（千円）	構成比(%)	対前年度比(%)
112,056,392	100.0	103.6	116,265,146	100.0	103.8
112,056,392	100.0	103.6	116,265,146	100.0	103.8
108,665,564	96.9	102.6	111,570,128	96.0	102.7
108,665,564	96.9	102.6	111,570,128	96.0	102.7
4,844,040	4.3	100.0	4,844,040	4.2	100.0
5,191,800	4.6	98.1	5,388,182	4.6	103.8
88,341,769	78.8	102.3	93,572,938	80.5	105.9
7,183,652	6.4	101.5	6,776,795	5.9	94.3
115	0.0	57.8	78	0.0	67.8
27,413	0.0	101.9	27,920	0.0	101.8
3,076,775	2.8	133.9	960,175	0.8	31.2
3,390,828	3.1	148.9	4,695,018	4.0	138.5
623,216	0.6	1,084.8	2,475,292	2.1	397.2
1,900,712	1.7	121.0	1,671,715	1.4	88.0
△ 24,032	△ 0	98.1	△ 21,814	△ 0	90.8
890,932	0.8	132.3	569,825	0.5	64.0
112,056,392	100.0	103.6	116,265,146	100.0	103.8
101,719,667	90.7	103.2	105,158,792	90.4	103.4
53,775,888	48.0	99.6	56,659,023	48.7	105.4
53,717,927	47.9	99.6	56,088,004	48.2	104.4
－	－	－	500,000	0.4	皆増
57,961	0.1	179.5	71,019	0.1	122.5
9,638,468	8.6	135.3	9,502,963	8.2	98.6
3,811,700	3.4	195.5	2,937,400	2.5	77.1
3,597,391	3.2	102.4	3,539,273	3.1	98.4
2,176,487	2.0	135.9	2,953,025	2.6	135.7
34,146	0.0	108.1	34,230	0.0	100.2
18,744	0.0	76.0	39,035	0.0	208.3
38,305,311	34.1	102.2	38,996,806	33.5	101.8
36,361,611	32.4	101.3	38,276,458	32.9	105.3
1,943,700	1.7	123.5	720,348	0.6	37.1
10,336,725	9.3	107.9	11,106,354	9.6	107.4
7,169,736	6.4	109.5	8,037,330	6.9	112.1
7,169,736	6.4	109.5	8,037,330	6.9	112.1
3,166,989	2.9	104.6	3,069,024	2.7	96.9
2,373,622	2.2	100.0	2,373,622	2.1	100.0
516,874	0.5	100.0	516,874	0.5	100.0
1,856,748	1.7	100.0	1,856,748	1.6	100.0
793,367	0.7	121.2	695,402	0.6	87.7
793,367	0.7	121.2	695,402	0.6	87.7

（2）汚水処理原価・汚水処理原価分析

① 1㎥当たり使用料単価及び汚水処理原価内訳表

区分 ＼ 年度		平成26年度			平成27年度		
有収水量		22,244,821 ㎥			22,711,492 ㎥		
使用料単価	下水道使用料	金額（千円）	構成比(%)	1㎥当り（円）	金額（千円）	構成比(%)	1㎥当り（円）
		4,029,725	100.0	181.15	4,100,827	100.0	180.56
汚水処理原価	管渠費	338,024	9.1	15.20	418,994	10.7	18.45
	ポンプ場費	94,743	2.5	4.26	104,468	2.7	4.60
	処理場費	729,155	19.6	32.78	750,210	19.1	33.03
	その他維持管理費	299,302	8.1	13.45	248,467	6.3	10.94
	支払利息等	1,003,642	27.0	45.12	972,653	24.8	42.83
	減価償却費	1,251,149	33.7	56.24	1,425,076	36.4	62.75
	計	3,716,015	100.0	167.05	3,919,868	100.0	172.60
	（参考） 分流式下水道に要する 経費控除前	4,341,618	－	195.17	4,456,106	－	196.20

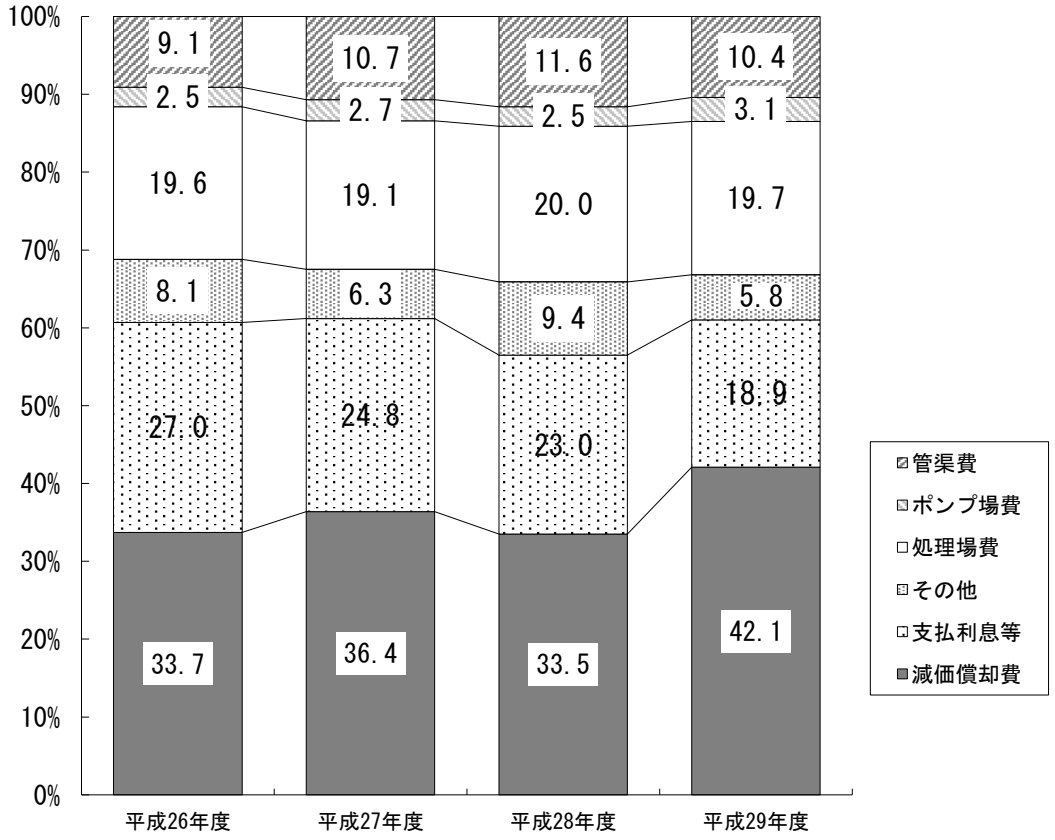
※1㎥当り使用料単価＝下水道使用料÷有収水量

※1㎥当り汚水処理原価＝{経常費用 －（雨水処理経費）}÷有収水量

※減価償却費は、長期前受金戻入額を控除した額を計上

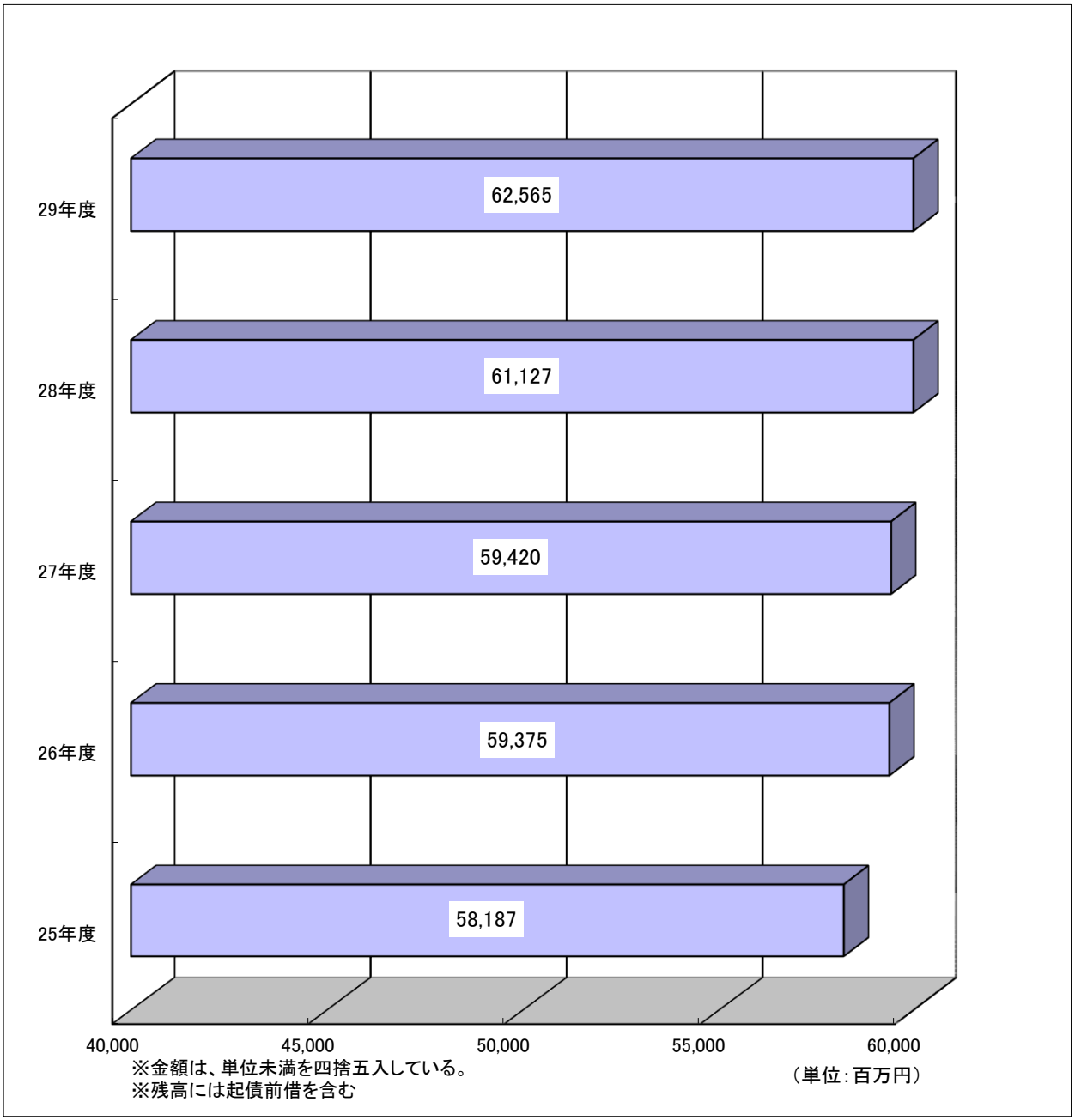
※下水道事業会計全体の単価・原価である

② 汚水処理原価構成表



平成28年度			平成29年度		
23,100,180 ㎥			23,368,659 ㎥		
金額（千円）	構成比(%)	1㎥当り（円）	金額（千円）	構成比(%)	1㎥当り（円）
4,162,767	100.0	180.20	4,212,468	100.0	180.26
460,217	11.6	19.92	440,310	10.4	18.84
99,641	2.5	4.31	132,960	3.1	5.69
790,874	20.0	34.24	836,682	19.7	35.80
369,429	9.4	15.99	247,677	5.8	10.60
906,861	23.0	39.26	805,580	18.9	34.47
1,323,787	33.5	57.31	1,792,162	42.1	76.69
3,950,809	100.0	171.03	4,255,371	100.0	182.09
4,484,943	－	194.15	4,607,930	－	197.18

（3）企業債借入残高状況


29年度
28年度
27年度
26年度
25年度
62,565
61,127
59,420
59,375
58,187
40,000
45,000
50,000
55,000
60,000
※金額は、単位未満を四捨五入している。
※残高には起債前借を含む
（単位：百万円）

（4）経営分析表

本市の下水道事業会計では、公共下水道（主に久留米、北野、三潴地区）と特定環境保全公共下水道（主に田主丸、城島地区）という二つの事業を実施している。

ここでは、類型都市や全国平均とあわせて、それぞれの事業ごとに下水道事業における主な指標を掲載している。なお統計の都合上、本市の指標は平成29年度、類型及び全国平均は平成28年度のものである。

項　　目	公共下水道					特定環境保全公共下水道					説　明　・　分　析
	すう勢比較			他市との比較（28年度）		すう勢比較			他市との比較（28年度）		
	27年度	28年度	29年度	類型	全国平均	27年度	28年度	29年度	類型	全国平均	
事業別普及率（%） 現在処理区域内人口 ／ 行政区域内人口	75.5	76.5	78.0	－	－	2.2	2.6	2.7	－	－	行政区域内人口に占める処理区域内人口の割合で、事業の整備状況を表すものである。公共下水道及び特定環境保全公共下水道それぞれにて算出しているため市内全域の普及率ではない。 特定環境保全公共下水道は、田主丸地区及び城島地区の一部で供用開始しているものの、まだ整備途上のため低い値となっている。
進捗率（%） 現在処理区域内人口 ／ 全体計画人口	87.5	88.8	90.3	94.2	92.1	31.0	35.9	38.5	70.6	66.7	全体計画人口に占める処理区域内人口の割合で、全体計画に対しての進捗状況を表すものである。 公共下水道は、ほぼ全国平均と同水準であるが、特定環境保全公共下水道は、事業別普及率と同様、低い値となっている。
処理区域内人口密度（人/ha） 現在処理区域内人口 ／ 現在処理区域面積	50.2	50.0	50.0	43.0	61.0	31.7	30.4	30.8	23.0	23.0	処理区域面積1haあたりの人口を表したものである。 すう勢比較としては公共下水道、特定環境保全公共下水道ともにほぼ横ばいであるが、類似都市との比較では高い水準にある。
施設利用率（%） 現在晴天時平均処理水量（㎥/日） ／ 現在処理能力（晴天時）（㎥/日）	62.3	68.1	66.9	83.0	86.2	48.5	61.0	64.4	558.6	68.4	現在晴天時平均処理水量を現在処理能力（晴天時）で除したもので、施設がどの程度利用されているのかを示す。 すう勢比較としては公共下水道はほぼ横ばいであるが、特定環境保全公共下水道は普及率の増加に伴い年々増加傾向にある。 公共下水道、特定環境保全公共下水道ともに他市や全国平均と比較すると低い。
有収率（%） 年間有収水量 ／ 年間汚水処理水量	84.1	82.9	88.2	78.1	80.2	69.0	73.9	83.9	95.6	86.7	処理した汚水のうち使用料徴収の対象となる有収水量の割合である。有収率が高いほど使用料徴収の対象とできてない不明水が少なく、効率的であるということができる。 すう勢比較としては、公共下水道、特定環境保全公共下水道ともに本年度は増加している。 公共下水道は他市や全国平均と比較すると高い。
水洗化率（%） 現在水洗便所設置済人口 ／ 現在処理区域内人口	91.4	91.4	91.1	93.5	94.9	60.1	64.6	68.0	66.0	82.3	現在処理区域内人口のうち、実際に水洗便所を設置して汚水を処理している人口の割合である。 すう勢比較としては、公共下水道はほぼ横ばいだが、特定環境保全公共下水道は増加している。 全国平均と比較すると低い。

項　　目	公共下水道					特定環境保全公共下水道					説　明　・　分　析
	すう勢比較			他市との比較（28年度）		すう勢比較			他市との比較（28年度）		
	27年度	28年度	29年度	類型	全国平均	27年度	28年度	29年度	類型	全国平均	
使用料単価（円/㎥） 使用料収入 / 年間有収水量	180.9	180.5	180.6	162.7	137.9	155.3	161.4	161.6	161.9	162.3	有収水量1㎥あたりの使用料収入であり、使用料の水準を示す。 すう勢比較としては、公共下水道はほぼ横ばいだが、特定環境保全公共下水道は増加傾向である。 公共下水道は他市や全国平均と比較すると高いが、特定環境保全公共下水道は他市や全国平均と同水準である。
汚水処理原価（円） 汚水処理費 / 年間有収水量 ※　下段（　）は、分流式下水道に要する経費を控除する前の値	170.2 (191.5)	169.6 (189.8)	182.5 (192.5)	162.4 (207.7)	137.9 (167.2)	358.9 (563.4)	263.6 (473.3)	161.6 (450.9)	187.8 (380.0)	232.6 (422.1)	有収水量1㎥あたりの汚水処理費であり、その水準を示す。汚水処理費は、維持管理費と資本費に分けられる。 維持管理費は日常の下水道施設の維持管理に要する経費であり、具体的には、人件費、動力費、薬品費、施設補修費、管渠清掃費等によって構成される。 資本費は、減価償却費、企業債利息（一時借入金利息は除く。）及び企業債取扱諸費等の合計額である。 すう勢比較としては、公共下水道は維持管理費に伴うもの、資本費に伴うもの、ともに横ばいだが、特定環境保全公共下水道は整備進捗に伴う有収水量の増加によって、いずれも年々減少している。
汚水処理原価（維持管理費）（円/㎥） 汚水処理費（維持管理費） / 年間有収水量	66.1	73.8	70.3	74.5	68.8	140.2	115.7	106.3	118.3	142.1	
汚水処理原価（資本費）（円/㎥） 汚水処理費（資本費） / 年間有収水量	104.1	95.8	112.2	87.9	69.1	218.7	147.9	55.3	69.5	90.5	
経費回収率（%） 使用料収入 / 汚水処理費 ※　下段（　）は、分流式下水道に要する経費を控除する前の値	106.3 (94.4)	106.4 (95.1)	99.0 (93.8)	100.2 (78.3)	100.0 (82.5)	43.3 (27.6)	61.2 (34.1)	100.0 (35.8)	86.2 (42.6)	69.8 (38.5)	汚水処理に要した費用に対する、使用料による回収程度を示す。下水道の経営は、経費の負担区分を踏まえて汚水処理費全てを使用料によってまかなうことが原則であるといわれる。 よって経費回収率は、下水道事業の経営を最も端的に表している指標といえる。 すう勢比較としては、公共下水道はほぼ横ばいであり、特定環境保全公共下水道は年々増加している。
経費回収率（維持管理費）（%） 使用料収入 / 汚水処理費（維持管理費）	273.7	244.5	257.0	218.2	200.5	110.8	139.5	152.0	136.9	114.3	
処理人口1人あたりの維持管理費（汚水分）（円/人） 維持管理費（汚水分） / 現在処理区域内人口	6,418	7,168	6,768	7,607	7,428	5,918	5,282	5,348	8,456	13,169	現在処理区域内人口1人あたりにかかっている維持管理費であり、効率的な維持管理の状況を見るものである。この場合の維持管理費には、管渠、ポンプ場、処理場その他にかかっている費用全てが含まれている。 他市や全国平均と比較すると低い。
処理人口1人あたりの資本費（汚水分）（円/人） 資本費（汚水分） / 現在処理区域内人口	10,112	9,298	10,803	8,968	7,463	9,234	6,750	2,781	4,969	8,390	現在処理区域内人口1人あたりにかかっている資本費である。なお、この場合の資本費とは、減価償却費と企業債利息等である。 公共下水道は他市や全国平均と比較すると高く、特定環境保全公共下水道は他市や全国平均と比較すると低い。

項　　目	公共下水道					特定環境保全公共下水道					説　明　・　分　析
	すう勢比較			他市との比較（28年度）		すう勢比較			他市との比較（28年度）		
	27年度	28年度	29年度	類型	全国平均	27年度	28年度	29年度	類型	全国平均	
処理人口1人あたりの管理運営費（汚水分）（円/人） 管理運営費（汚水分）／現在処理区域内人口	16,530	16,465	17,570	16,575	14,891	15,152	12,033	8,129	13,426	21,559	現在処理区域内人口1人あたりにかかる管理運営費である。この場合の管理運営費とは、維持管理費と資本費を合計したものである。 すう勢比較としては、公共下水道はほぼ横ばいである。特定環境保全公共下水道は年々減少しており、他市や全国平均と比較しても低い。
職員1人あたりの処理区域内人口（人/人） 現在処理区域内人口／職員数	4,811	4,984	5,071	4,023	4,216	1,350	1,563	1,677	3,060	2,930	処理区域内人口を職員数で除したものである。 すう勢比較としては、区域内人口の増加に伴い年々増加している。特定環境保全公共下水道は他市や全国平均と比較すると低い。
職員給与費対営業収益比率（%） 職員給与費／営業収益−受託工事収益	6.2	6.3	5.0	5.8	6.0	0.0	0.0	0.0	6.8	9.1	営業収益に占める職員給与費（損益勘定）の割合を示している。 すう勢比較としては増加傾向であった公共下水道が29年度は減少している。 なお、特定環境保全公共下水道には資本勘定にのみ職員給与費を計上しているため、値がゼロとなっている。
総収支比率（%） 総収益／総費用	106.2	106.3	106.0	116.8	118.6	78.1	87.1	100.0	124.8	133.4	総収益と総費用の比率を表したものである。100%未満であると総収支が赤字であることを示している。 すう勢比較としては、公共下水道はほぼ横ばい、特定環境保全公共下水道は増加している。他市や全国平均と比較すると低い。
経常収支比率（%） 経常収益／経常費用	106.2	106.5	105.9	101.5	99.1	78.1	87.1	100.0	93.0	86.0	経常収益と経常費用の比率を表したものである。100%未満であると経常収支が赤字であることを示している。 すう勢比較としては、公共下水道はほぼ横ばい、特定環境保全公共下水道は増加している。いずれも他市や全国平均よりも高くなっている。
事業別資金不足比率（%） 資金不足額／営業収益−受託工事収益	0.0	0.0	0.0	5.0	3.2	158.9	152.2	0.0	19.0	28.3	事業別に算出した資金の不足額と営業収益（受託工事収益を除く）の比率。マイナスの場合はゼロ（資金不足なし）。 昨年まで資金不足の状態であった特定環境公共下水道も29年度はゼロとなっている。
利子負担率（%） 支払利息+企業債取扱諸費／企業債+長期借入金+一時借入金	1.9	1.7	1.6	2.0	2.0	1.6	1.3	1.2	1.7	2.0	有利子の負債に対する支払利息の割合であり、外部利子の平均利率を表す。利子負担率が高くなるとその後の経営を圧迫する要因の一つとなる。 すう勢比較では公共下水道、特定環境保全公共下水道ともに減少している。他市や全国平均と比較すると低い。
自己資本構成比率（%） 自己資本金+剰余金+評価差額等+繰延収益／負債・資本合計	43.7	43.9	43.7	54.6	58.0	40.5	37.9	36.5	45.2	48.6	総資本に占める自己資本の割合であり、財政状態の長期的な安全性を見る指標である。 すう勢比較としては、公共下水道はほぼ横ばい、特定環境保全公共下水道は減少している。他市や全国平均と比較すると低い。

項　　目	公共下水道					特定環境保全公共下水道					説　明　・　分　析
	すう勢比較			他市との比較（28年度）		すう勢比較			他市との比較（28年度）		
	27年度	28年度	29年度	類型	全国平均	27年度	28年度	29年度	類型	全国平均	
固定資産対長期資本比率（%） 固定資産 固定負債+資本金+剰余金 +評価差額等+繰延収益	102.8	102.3	101.7	102.4	101.9	102.5	102.5	101.2	97.9	101.9	自己資本構成比率と同じく、事業の固定的・長期的安全性を見る指標で、資金が長期的に拘束される固定資産が、どの程度自己資本や長期借入金によって調達されているかを示す。 すう勢比較では公共下水道、特定環境保全公共下水道ともにほぼ横ばいである。他市や全国平均との比較ではほぼ全国平均並みである。
処理区域内人口１人あたりの地方債現在高（千円/人） 地方債現在高 現在処理区域人口	239	239	238	258	218	630	650	700	487	475	地方債現在高を処理区域内人口で除したものである。 すう勢比較としては、公共下水道はほぼ横ばい、特定環境保全公共下水道は増加している。 他市や全国平均と比較すると公共下水道はほぼ平均並み、特定環境保全公共下水道はやや高い数値となっている。

※この表における類型他市は、以下をすべて満たすものである
（公共下水道）
・処理区域内人口100千人以上
・処理区域面積1haあたり年間有収水量2.5千㎥/ha以上、5.0千㎥/ha未満
・供用開始後25年以上
（特定環境保全公共下水道）
・処理区域内人口5千人以上
・処理区域面積1haあたり年間有収水量2.5千㎥/ha未満
・供用開始後5年以上15年未満

（5） キャッシュ・フロー計算書

（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）

（単位：千円）

1 業務活動によるキャッシュ・フロー	
当年度純利益	352,035
減価償却費	3,401,669
退職給付引当金の増加額	13,058
賞与引当金の増加額	84
貸倒引当金の減少額	△ 2,217
長期前受金戻入額	△ 1,354,788
受取利息及び配当金	△ 7
支払利息及び企業債取扱諸費	995,341
固定資産除却損	23,931
固定資産売却損	14
未収金の増加額	△ 21,469
未払金の増加額	118,435
預り金の増加額	20,290
小計	3,546,376
利息及び配当金の受取額	7
支払利息及び企業債取扱諸費の支払額	△ 892,603
業務活動によるキャッシュ・フロー	2,653,780
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 5,998,576
有形固定資産の売却による収入	22
国庫補助金等による収入	2,200,887
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,797,667
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	1,575,000
その他の企業債による収入	523,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 2,680,165
その他の企業債の償還による支出	△ 276,866
企業債前借による収入	2,937,400
建設改良費等の財源に充てるための他会計借入金による収入	500,000
他会計からの出資による収入	417,594
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,995,963
資金増加額（又は減少額）	1,852,076
資金期首残高	623,216
資金期末残高	2,475,292

キャッシュ・フロー計算書について

企業経営の評価は、売上高（市場占有率）や経常利益で判断するのが一般的です。

しかし、企業の資金は、営業活動だけでなく投資及び財務活動においても資金の収支があり企業全体で資金を管理する必要があります。

また、内部留保資金の内訳が表示されるとともに、投資活動における資金の手当先が明示され企業活動における資金の移動がわかりやすくなります。

そこで、利益とは別の視点から資金の流れを把握するため「キャッシュ・フロー計算書」があります。

キャッシュ・フロー計算書の区分について

キャッシュ・フロー計算書には、ⅠからⅢまでの三つの区分があります。

Ⅰ「業務活動によるキャッシュ・フロー」

主たる営業活動からどの位資金を獲得したかを示すもので、通常、これにより獲得した資金が投資活動に使われます。

Ⅱ「投資活動によるキャッシュ・フロー」

施設整備拡充等の投資活動における資金の流れを示すものです。

Ⅲ「財務活動によるキャッシュ・フロー」

営業及び投資活動を維持するために、どの程度資金が調達または返済されたかを示すものです。

平成２９年度キャッシュ・フローについて

【業務活動での収支】

業務キャッシュ・フローでは、純利益 352,035 千円、内部留保資金の減価償却費 3,401,669 千円の発生が、資金の主な増加要因となっています。

一方、長期前受金戻入額 1,354,788 千円、利息の支払額 892,603 千円が資金の主な減少要因となっています。

この結果、業務活動によるキャッシュ・フローは 2,653,780 千円となっています。

【投資活動での収支】

投資キャッシュ・フローでは、工事に係る補助金等の収入 2,200,887 千円が資金の主な増加要因となっています。

一方、有形固定資産の取得による支出 5,998,576 千円が資金の減少要因となっています。

この結果、投資活動によるキャッシュ・フローは△3,797,667 千円となっています。

【財務活動での収支】

財務キャッシュ・フローは、企業債（起債前借含む）の借入れ 5,035,400 千円が資金の主な増加要因であり、企業債の償還 2,957,031 千円が資金の減少要因となっています。

この結果、財務活動によるキャッシュ・フローは 2,995,963 千円となっています。

以上により、平成 29 年度における、期中の現金及び現金同等物の増減額は 1,852,076 千円のプラスとなりました。